



五月

# パストラル尼崎

阜月

No.98 2020(R2)年4月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎  
尼崎市潮江1丁目10-2  
Tel. 06-6493-0521  
Fax. 06-6493-0301  
発行責任者：池田 広樹

## ◆五月の歳時記◆

「背くらべ」



「柱のキズはおととしの五月五日のせいくらべ・・・」という童謡「背くらべ」。小さな兄弟たちの成長が微笑ましく描かれた歌ですが、皆さんのなかにも、柱のキズで、子どもたちの成長を確かめていたお家も多いのではないのでしょうか？

さて、近年その日本人の成長に異変が起きているのはご存知でしょうか？昔より栄養状態も良くなり、ちゃぶ台からテーブルへと生活スタイルも変わって、もうすぐ欧米人と肩を並べるのではと思いきや、なんと今の若者の身長が、五〇代のおじさんの平均身長より低くなっているそうです。汗原因は、栄養の偏りや運動不足なども考えられますが、国立成育医療研究センターによると、「低出生体重児（二五〇g以下）」の増加であると言われています。低出生体重で生まれた子供は、その後の成長に影響するのだとか。

五〇代のおじさんといえば、バブル世代でモテ男の条件は『三高』と言われ、**高学歴、高身長、高収入**という厳しい時代でした。今は、『四低』といって、**低姿勢（威張らない）・低依存（家のことを妻に丸投げしない）・低リスク（安定した仕事）・低燃費（浪費しない）**などとも言われ全体的にコンパクト化。まさかそんな事が影響しているはずはないでしょうか・・・汗

実は日本人（男性）の身長は、ずっと小さかったわけではなく、縄文や古墳時代は一六三センチもありました。実は江戸時代が一番低く一五五センチ。その原因のひとつは、江戸時代には獣肉を殆ど食べなかった為、動物性たんぱく質が欠乏し、骨の成長の停滞につながったそうです。もちろん戦時中にも低下しています。

歴史上の人物では、大塩平八郎、豊臣秀頼、西郷隆盛、女性では淀君などが高身長として知られています。

## ★「個性光るフロアの飾り付け」★

パストラル尼崎の各フロアのエレベーター前には、コンソールテーブルと小さな掲示板が設置されていますが、パストラル尼崎の開設当時から各階のご入居者様の手によって季節ごとに素敵に飾り付けられています。（当番制が多いようです。）小さなスペースではありますが、鮮やかな写真や手作りの作品、自慢のコレクションなどが品よく配され、彩りもセンスよく、各階の個性が光っています。働くスタッフにとっても癒しの空間になっていて、思わず立ち止まって見入ってしまう事もよくあります。今回は、4月中旬にディスプレイされていたそのいくつかをご紹介します。



## 「パストラルシニア大学」 5年間を振り返って

2015年に開校した「パストラルシニア大学」も今年で6年目を迎える事となりました。着任して2か月、ご入居者様の教養の高さ、社会参加への意欲などを鑑み、行政が推進している「シニアカレッジ」などを参考に“館内で通える大学”として「パストラルシニア大学」を開校。祈るような気持ちで迎えた初日、たくさんの受講生の姿に胸をなで下ろした事を思い出します。その後、定員不足で廃校に追いやられる事もなく（笑）常時40～50名ほどの受講者を得、また講師もその殆どが無償という恵まれた条件の下、5年の月日が流れました。毎回熱心にメモを取られる方、資料で復習される方、鋭い質問をされる方に、講師陣から驚きとともに賛辞をたくさん頂きますが、この安定した受講者数と熱心な受講態度は、実は講師依頼の際の“肝”となっています。「はあ？高齢者施設ですか？」と引き気味（汗）の外務省、日銀、JAL、奈良国立博物館など敷居の高い講師依頼にも臆せず（実はドキドキ）交渉できたのは、この実績の上に成り立ったもので、皆さまには感謝しかありません。

シニア大学は、ご入居者の約半数の方が一度は受講され、30人近くの方が皆勤、精勤という勤勉さです。今年は、コロナの影響で、玄関先で卒業式を行いました。皆さまの輝く笑顔にスタッフ側が逆に救われました。どうか今後とも末永くシニア大学へご支援賜りますよう宜しくお願い致します。 Y様と施設長

